

NPO法人アムダ 岡山県立大学 総社市

世界の命を救う

災害支援、地域振興、教育・人材育成、福祉事業の分野で連携協力する協定を、認定特定非営利活動法人アムダと公立大学法人岡山県立大学と総社市の3者で締結しました。今後、それぞれの強みである専門性や先進性、独自性を生かし、相互扶助の精神のもと「世界の命を救う」取り組みを行います。

◆世界の命を救う

これまで市とAMDAグループ、市と岡山県立大学、AMDAと岡山県立大学はそれぞれ協定を結び、さまざまな分野で連携を行ってきました。このたび3者を結ぶトライアングル協定を締結。国際的医療・保健衛生分野の支援を行うNPO法人と地域貢献活動やグローバル化を進める大学、そして自治体が一体となり、

◆世界的命を救う取り組みを進めていきます。

AMDAの国際NGOとしての医療・保健衛生の専門性、岡山県立大学の専門性の高い知的財産、そして総社市の行政的ノウハウとマンパワー。これら3者の強みを発揮、融合した連携事業を行っていきます。主な連携協力事業とし

て、南海トラフ大震災に対応するための3者連携プログラムや3者連携による被災地支援など災害支援活動。地域のためにお互いが連携していく地域振興事業。留学生の受け入れや福祉の専門教育といった教育・人材育成推進プログラム。障がい者支援プログラムなどの福祉事業。これらを基本的な柱とし、日本だけでなく世界を視野に入れた活動が期待されます。



9月10日に市役所で行われた協定調印式。署名押印し、固い握手を交わすAMDA菅波茂理事表、岡山県立大学辻英明理事長、片岡総社市長、調印に立ち会った渡邊繁雄総社市議会議員（写真左から）



パキスタンで活動するAMDA

AMDA 認定特定非営利活動法人アムダ

相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。災害などの発生後、いち早く現地に駆けつけ、医療支援の届きにくい地域の被災者に保健医療活動を行う。特に現地状況、被災者のニーズを把握するために、世界30か国にある海外支部と連絡を取り合い、その支部などの医療チームと日本からの医療チームで多国籍医師団を編成し活動にあたる。

公立大学法人岡山県立大学

より開かれた大学として、地域社会との交流を密にし、地域共同研究機構を通じた地域貢献活動の活性化に努める。研究・教育活動を活性化し、地域住民や行政機関との連携を深め、地域産業の振興や福祉の充実を図るためにさまざまな活動を行う。また、積極的な留学生の受け入れなど、学生の英語力のスキルアップや異文化の理解力の向上を目指したグローバル化教育にも取り組んでいる。



岡山県立大学で学ぶ留学生

総社市

この3者協定の事業では行政的ノウハウと市職員のマンパワーを生かし、災害支援、地域振興、福祉などについて取り組む。特に災害支援では、東日本大震災以降は災害発生3日以内の緊急支援として、被災地からの要請を待たず、現地と直接連絡をとりながら必要な物資を届けるという支援活動を行っている。災害のときは基礎自治体がお互いで支え合うという仕組みが重要である。



大雨被害にあった島根県津和野町に物資を届ける